

		児童館事業	学童クラブ事業
西京極西児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○来館者にとって居心地のよい場所となるように、一人ひとりのニーズの把握に努めます。 ○職員の個性を生かした計画、立案をします。 ○地域や関係機関との連携を促進し、子育て支援の輪を広げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の場として居心地のよい環境作りを進めます。 ○異年齢やクラスをいかした集団活動を取り入れ、社会性を養います。 ○学童クラブ修了後の放課後の生活を見据えた生活支援を行います。 ○子どもについての情報共有を図りながら、保護者との信頼関係を築いていきます。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルスへの対応が変化する中で昨年は中止になっていたイベントや取組を実施することができました。また、地域のイベントや会議に足を運び、地域の関係団体との連携強化に努めました。 ○乳幼児クラブ等の子育て支援の取組や自由に来館できることについて、感染対策を伝えながら安心して利用できることをアピールするよう努めました。コロナ前のようにたくさんの方が気軽に利用していただくことは容易ではありませんが、少しずつ利用しやすい児童館のイメージが浸透していくよう、更に力を入れたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗い消毒の徹底とマスク着用等子どもたち自身で感染対策を行うことが身につけてきました。 ○学童クラブでの集団生活をより主体的に過ごせるように、3年生会議や高学年会議を行い、学童クラブの生活について考える時間を持ちました。3年生や高学年が学童クラブの中心となって、取組の提案・実行、職員の手伝い等を自主的に行うようになりました。 ○親子参加型の取組を実施し、これまでイベントが中止になり、親子参加の機会が少なかった中で、親子で楽しむ機会や学童クラブでの保護者同士のつながりを作る機会となりました。